

東北関東大震災 支援者のみなさまへ

避難所ですごす子どもたちのための、あそびマニュアルです。

新聞紙とテープとゴミ袋で遊べる方法

をご紹介します。

子どもたちのために、ご活用ください。

現場の実情にあわせて、可能な部分のみ、参考にさせていただければと思います。

特定非営利活動法人

東京学芸大学こども未来研究所

新聞紙シリーズ

・新聞紙の大空

【出典：東京学芸大学准教授 石井壽郎】



東京学芸大子ども未来プロジェクト
Tokyo Gakugei Univ. the Future of Childhood Project

東京学芸大子ども未来プロジェクト
東京都小金井市貫井北町4-1-1
Tel: 042-329-7795
Mail: codomo@u-gakugei.ac.jp

新聞紙のきんとうんを広げていこう



新聞紙の大海 詳細

- 1: まず新聞紙を持てるだけ持って、新聞紙1枚の上に立つ。(悟空のきんとうん)に乗る。
- 2: 今から床は大空の上です。持っている新聞紙で自分のきんと雲をどんどん大きくして友達と合体させてどんどん広げよう。*子ども一人に1つセロテープが望ましい。セロテープが燃えないゴミの自治体は紙のテープ。

雲が大きくなり、1面の新聞紙になったら

- 3: 子どもたちに一列に並んでもらい、今度は鳥に変身!雲の下を潜ってみよう!

一列に並んでリズムを合わせて雲の下をもぐる。

*一方通行にしないと、ぶつかって危険です。

なるべく1つの大きな雲になるように





こうなったら後は自由

8

4：あとは自由に新聞紙をぐちゃぐちゃにして遊びます。

言わずもがな、子どもたちは激しく新聞紙を引き裂き、宙に舞って遊びます。

できるだけ細かくちぎる方向がかまいません。そのほうがゴミ袋が少なくて済みます。



子どもたちが飽きるまで(時間まで自由)

10

5：後片付けも遊びにします。

「次に袋に新聞紙をつめて大きなボールを作るよ！」

スタッフがゴミ袋を広げ、子どもたちがつめる。最後のかけらがなくなるまでボールにしない。

大体ここまで1時間ほど

11

6：ボールにして遊ぶ子もいますが、多くは疲れてこんな感じです。

